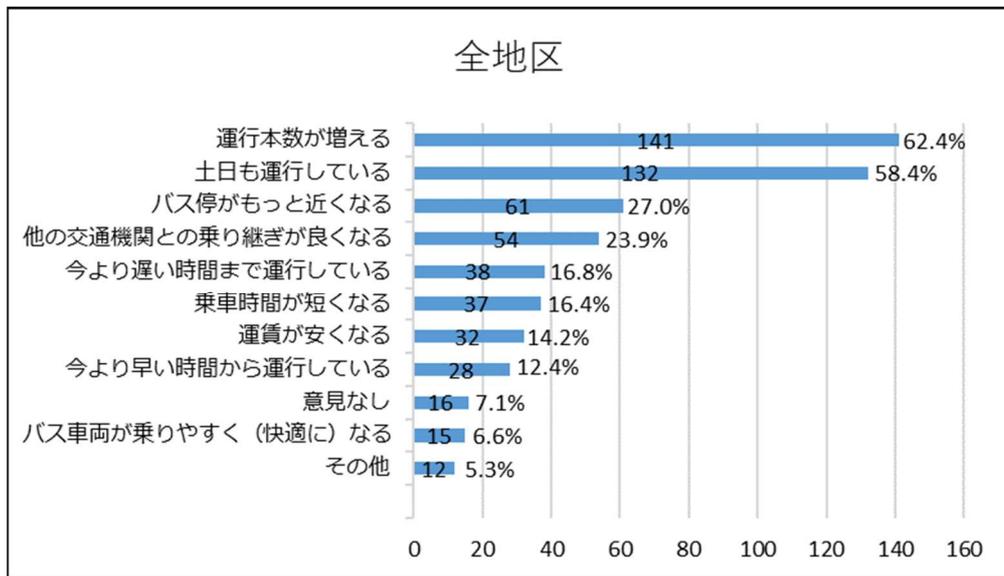
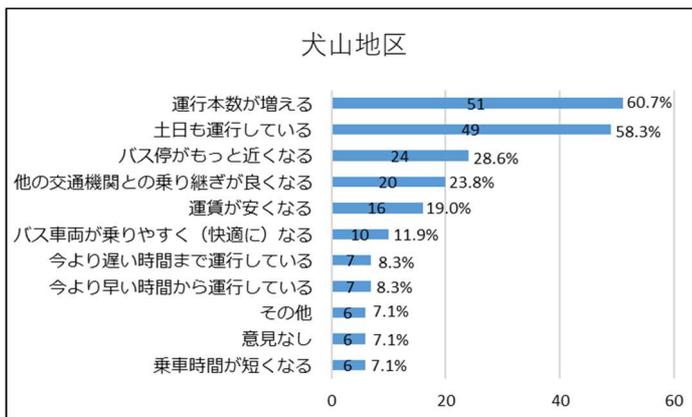


◆アンケート結果

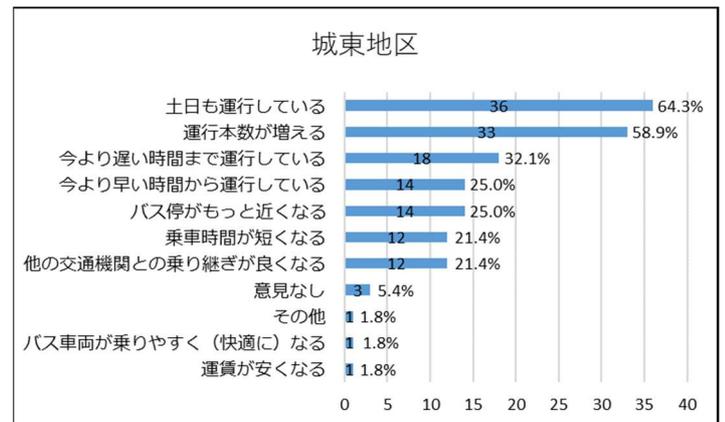
全地区（回答数：226）



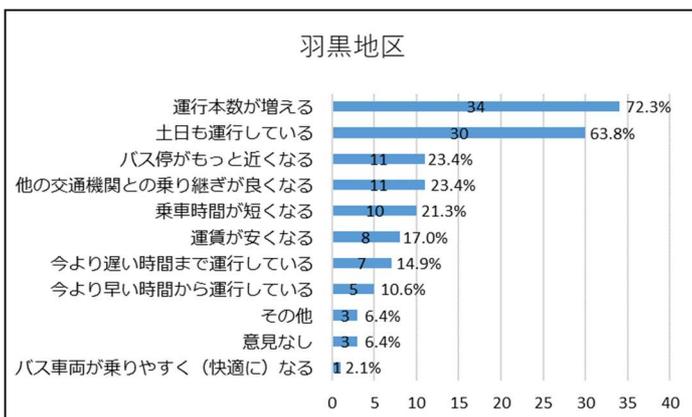
犬山地区（回答数：84）



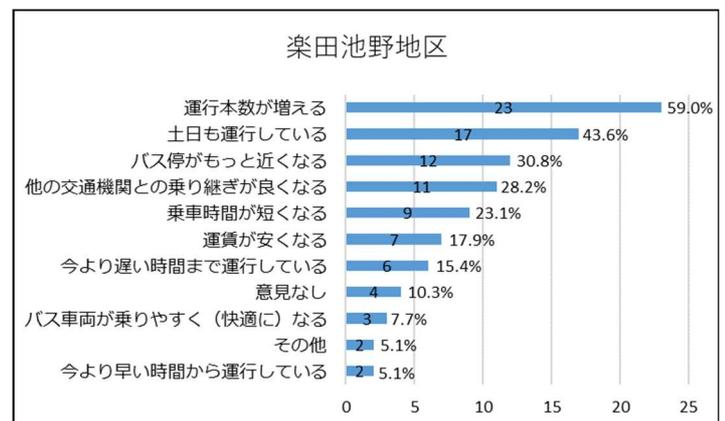
城東地区（回答数：56）



羽黒地区（回答数：47）



楽田池野地区（回答数：39）



◆個別意見（抜粋）

①バスの車両や用途に関すること 12件

- ・狭い道路でも走れるバスにして、利用しやすくなるといい。
- ・乗降口がスロープだとよい。
- ・小学生のスクールバスとして利用できるようになると良い。
- ・小型車両を増やした方が効率的なのでは。

②バス停に関すること 39件

- ・〇〇〇の近くにバス停がほしい。（主に医院・お店）
- ・運行路線内ならどこでも乗降できるようにする。
- ・待つ場所がない。（屋根・椅子）
- ・バス停が道路の片方のみある場合、反対側道路での乗降場所がわかりにくい。
- ・バス停が遠いので、買い物の帰路に、荷物を持って歩くのが大変。
- ・駅東と中央病院は、同時にたくさん到着し、どのバスに乗ればいいのか迷う。

③運行本数に関すること 24件

- ・1時間に1本を希望します。
- ・平日は、1時間に2本あるとよい。
- ・土曜日に病院があるので運行してほしい。
- ・朝・夕にもっと本数を増やしてほしい。
- ・本数が少ないので、時間の都合がつけにくい。
- ・利用する人は、帰りのバス運行の不便さを訴えている。

④ダイヤ・乗り継ぎに関すること 18件

- ・バス同士の乗り継ぎがもう少し便利だとよい。
- ・運転手さんの休憩がなく大変そう。過労なく安心できるダイヤ改正を。
- ・バスに遅れがあって、わん丸君バス同士の乗り継ぎができないときがある。
- ・時間帯の乗車率などを見て、ダイヤを改正してほしい。
- ・現状は、使いたいときに使えない。

⑤運賃に関すること 8件

- ・運賃が半額になれば、利用者も増えるのでは。
- ・1回100円か、1日200円か選べるとよい。
- ・〇歳以上は無料にしてほしい。
- ・中央病院の往復など1日券で助かっています。

⑥路線に関すること 23件

- ・観光客用の路線を作る。(観光スポットを環状線化する。)
- ・犬山駅を中心とした路線が必要。
- ・買い出しのために、いくつかの町内を回って、スーパー等への直行便を作る。
- ・運行本数を減らしてでも、路線をさらに細かくできないか。
- ・市の中心部に行くのに時間がかかりすぎる。
- ・基幹路線を作る。(犬山駅から終点までの最短ルート)

⑦周知に関すること 11件

- ・当町内会における利用者が少なく、わん丸君バスについて知らない人が多い。
- ・バス停の場所・路線・発着時間をもっと多く人に知ってもらう。
- ・町内の掲示板に、最寄りのバス停の時刻表を掲示してほしい。
- ・わん丸君バスの内容が把握できていない。認知度を上げた方がよい。
- ・無料券があると、利用したことがない人も知る機会になるのでは。

⑧提案 5件

- ・モンキーパークや犬山城とコラボして、バスと施設の入場券をセットにした商品を夏休み等に企画すると、親子の利用客が増えるのでは。
- ・目的地に行くだけでなく、車内にいて楽しくなる企画とか、入鹿池1周コース、寂光院紅葉狩りコースなど。
- ・登山者用バスの運行。(登山ブームに乗っかる。)
- ・全国から注目されるようなイベントバスを考える。
- ・他の移送サービスや乗合交通と併せて、総合交通網を検討する。

⑨その他 52件

- ・高齢者の免許返納の一助になると思う。
- ・継続的なサービスの提供を期待します。
- ・わん丸君バスで「できること・できないこと」をしっかりと議論する。
- ・若い世代が利用してみよう思える雰囲気がない。高齢者向けのもの。
- ・車移動のため、必要性を感じず、問題点もわかりません。
- ・わん丸君バスが来てくれて大変安心しました。
- ・犬山市単独ではなく、近隣市町との路線の連携はしないのか。
- ・安全な運行をしていただいていると思います。
- ・今は家族が送迎しているが、送迎してくれる人がいなくなったら困る。
- ・デマンド交通の検討をよろしくお願いします。
- ・いくら希望を出しても、ルール上の制約で実現できない。

2. アンケート結果の反映

結果を再編案に反映します。特に要望が多かった「①運行本数が増える」ことについては、重点的に検討していきます。

①運行本数が増える

～検討案～

①現状運行のまま、全路線に対して1時間に1本や2本まで本数を増加することは要検討とする。

※現状は2時間に1本程度。

※本数増加には、車両やドライバーを追加する必要があり、年間の運行経費が増加する。

※路線を短くすれば、現状の運行経費のまま1時間1本とすることが可能だが、路線の削減は現実的ではない。

※単純に全路線を1時間に1本程度まで本数を増加させようとする、年間経費が数千万円増加する。例えば、運行本数が倍になれば、利用者数も倍になるわけではない。費用対効果の観点でも検討が必要。

②車両を1台追加し、運行本数を増やす。

※9台8路線として、運行本数の増加を図る。

※9台9路線とした場合、路線は細くなるが、運行本数は現状と変わらない。

③ダイヤ調整で利便性向上を図る。

※前回の再編時は、総合犬山中央病院への到着時間が8:30～9:00になるように全路線のダイヤ設定を行った。現在、コロナ禍で当日の順番待ちが少なくなり、予約診療も増えているため、各路線、第1便を柔軟にダイヤ設定してもいいのでは。

※市内の各鉄道駅との乗り継ぎを踏まえて、朝のダイヤ設定を調整する。